ポスター発表

2025年11月2日(日) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P2] ポスター発表 #2

[P2-31] 実人流データに基づく商店街のにぎわいの特徴分析：東京都大田区を対象としたケーススタディ

*沖 拓弥[1] (1. 東京科学大学)

キーワード：商店街、にぎわい、実人流データ、ビッグデータ、地域分析

2000年の大規模小売店舗法（大店法）の廃止や少子高齢化の進行などによって，商店街の多くは苦境に立たされている．これは東京都区部においても例外ではない．それでも一部の商店街は，現在もなお多くの地域住民や通勤・通学者，観光客などが集まり，にぎわいを見せている．どのような条件の，どのような商店街が，どのようなにぎわいを見せているかを定量的に把握することは，今後の商店街の存続方策を検討する上での有用な資料となり得る．そこで本研究では，130を超える商店街が存在し，多様な用途地域を有する東京都大田区をケーススタディとして，2023年5月の1か月間を対象にGPSベースの実人流データを活用し，商店街のにぎわいに関する分析を試みる．特に，にぎわいの量的・質的特徴をもとに区内の商店街を分類し，商店街活性化に求められる条件について基礎的考察を行う．

©一般社団法人地理情報システム学会